

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成29年 4月 4日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライガックレンゴウチョウナイカイ
団体名 平井学区連合町内会
所在地
連絡先

フリガナ カイチョウ ナス カズオ
代表者氏名 会長 那須 和夫

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区
事業 実 施 内 容	<p>昨今、価値観や生活環境の多様化により、人間関係の希薄化が顕著となり、また地域が抱える様な問題も地域コミュニティの崩壊が原因とも言われている。当学区も同様の傾向にあり、平井学区を住みよい街、笑顔で暮らせるまちにするためには、地域住民主体の地域づくりが必要と考え、地域づくりの第一歩として地域の各種団体が幅広く連携し、情報の共有や課題解決に向けた取り組みが必要であると考え、「地域づくり会議」を設立した。</p> <p>地域づくり会議は、事業目的を達成するため、次の事業を行うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none">①認知症予防対策事業「オレンジカフェひらい」を立ち上げる②地域課題の現状把握とニーズ調査のため「地域課題・ニーズ調査専門部会」を発足する。③専門職とのネットワーク構築と連携④地域住民への広報及び啓蒙活動⑤新たなサービス構築の検討 等 <p>今年度は、事業スケジュールに基づき、次の活動を主に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">①認知症予防対策事業「オレンジカフェひらい」の立ち上げ準備を進め、平成28年10月8日第1回目をオープンした。(カフェは月1回開催)②新たな地域課題の現状把握とニーズ調査のため「地域課題・ニーズ調査専門部会」を発足し、活動を開始した。③「地域課題・ニーズ調査専門部会」では、調査方法・項目等の検討及び実際の調査を実施するにあたり専門家である、“みんなの集落研究所”と合同で活動を進めている。④認知症予防対策事業の先進地へ視察を行った。(視察先：鳥取県琴浦町)⑤地域づくり会議活動内容を学区の内外へ情報発信及びPRを実施 等

事業目的とその達成状況と効果

【事業の目的】

地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的とした。

【事業の達成状況と効果等】

地域づくり会議は、各団体が把握している地域課題のアンケート分析から、高齢者対策を優先することとし、「高齢者対策専門部会」を立ち上げた。

その「高齢者専門部会」での検討の結果、認知症予防対策事業として「オレンジカフェひらい」を立ち上げ運用開始をめざすこととした。今年度その準備を進め、平成28年10月に第1回「オレンジカフェひらい」をオープンした。なお、カフェは毎月1回開催している。

新たな地域課題の現状把握とニーズ調査のため「地域課題・ニーズ調査専門部会」を発足させ、活動を開始した。「地域課題・ニーズ調査専門部会」では、学区の子供たちと子育て世代のために地域で何かお手伝いはできないかと検討を進めており、専門家である“みんなの集落研究所”と合同で活動を進めている。

なお、今後も地域課題の掘り起こしや課題解決策の継続検討及び具体的な事業展開を図るため、次年度（平成29年度）の事業目標を次のとおりとした。

- (1) 認知症予防対策事業の継続検討（高齢者対策専門部会）
- (2) 子育て世代の課題とニーズに対する対応策の検討
（地域課題・ニーズ調査専門部会）

企画などの工夫と情報公開

- ・ 連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表者によって構成する会議体を組織し、会議運営を行った。
- ・ 「地域課題・ニーズ調査専門部会」では、調査方法・項目等の検討及び実際の調査を実施するにあたり専門家である、“みんなの集落研究所”と合同で活動を進めている。
- ・ 認知症予防対策の先進地への視察を行った。（鳥取県琴浦町）
- ・ 効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を置いた。
- ・ 学区発刊の「連合町内会だより」や学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行った。

次年度計画	<p>次年度（平成29年度）の事業目標を達成するため、次の活動を主に実施することにした。</p> <p>(1) 認知症予防対策事業の継続検討（高齢者対策専門部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・福祉関係者等との支援ネットワークを構築する。 ・医療機関等と協働による認知症の早期発見方法や認知症検診の啓発活動等を検討する。 <p>(2) 子育て世代の課題とニーズに対する対応策の検討（地域課題・ニーズ調査専門部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の課題とニーズ調査の分析結果から検討テーマを選定する ・選定テーマの対策事例の調査と先進地域視察等の検討を行う ・協働可能な組織・団体を調査検討し、事業内容を共同で検討する ・事業計画を策定し、策定した事業の試行と評価を行う 等
事業実施者としての評価・感想など	<p>認知症予防事業の先進地である、鳥取県琴浦町を視察して、実際に公民館で行われている認知症予防の様子をいっしょに参加しながら体験し、参加者一同感銘を受けた。参加者と指導する方が、一体となって、大きな声で歌をうたったり、体操をしたり、クイズ等をして心から楽しんでいるように感じられた。このような活動が平井学区でも出来ればもっと住みよい街になるのでないかと感じた。</p> <p>また、今年発足した新たな地域課題を検討する、地域課題・ニーズ調査専門部会では、子育て世代の課題とニーズに対する対応策の検討で、その取りまとめを専門家である、“みんなの集落研究所”と合同で活動を進めており、より幅広く、またより深い検討がなされている。</p>

■収 支 決 算 書

◆収 入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	250,000	165,600	100 円未満切捨て
実施団体負担金	244,000	165,751	
参加者負担金	6,000	0	
計	500,000	331,351	

◆支 出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	20,000	102,106	別添添付、費目別支払内訳書をご参照
食糧費	54,000	19,872	同上
印刷製本費	30,000	25,940	同上
燃料費	0	3,087	同上
通信運搬費	30,000	8,200	同上
使用料	40,000	13,716	同上
委託料	150,000	151,470	同上
報償費	170,000	0	同上
保険料	6,000	0	同上
旅費交通費	0	6,960	同上
計	500,000	331,351	

■事業実施経過

年 月 日	内 容
平成28年3月16日	岡山市区づくり推進事業 事業決定通知
4月27日	岡山市区づくり推進事業 補助金等交付決定通知
4月28日	第1回「オレンジカフェひらい」準備会議開催
5月9日	連合町内会総会開催（地域づくり会議運営予算承認）
5月23日	第2回「オレンジカフェひらい」準備会議開催
6月7日	第5回地域づくり会議定例会開催
6月27日	第3回「オレンジカフェひらい」準備会議開催
7月15日	第1回地域課題・ニーズ調査専門部会開催
7月25日	第4回「オレンジカフェひらい」準備会議開催
8月18日～19日	地域課題・ニーズ調査専門部会、東山中学校区及び平井小学校区の 学校園長にヒアリングを実施
8月23日	第6回地域づくり会議定例会開催
9月26日	第5回「オレンジカフェひらい」準備会議開催
10月8日	第1回「オレンジカフェひらい」開催
10月12日	第2回地域課題・ニーズ調査専門部会開催
10月25日	地域課題・ニーズ調査専門部会、みんなの集落研究所に支援要請等 実施
11月12日	第2回「オレンジカフェひらい」開催
11月18日	鳥取県琴浦町、認知症予防対策事業視察
11月25日	地域課題・ニーズ調査専門部会、みんなの集落研究所と調査戦略・ 戦術等を打合せ
12月6日	第7回地域づくり会議定例会開催
12月17日	第3回「オレンジカフェひらい」開催
12月～1月	次年度事業計画・予算案策定等企画会議（数回）
平成29年1月20日	地域課題・ニーズ調査専門部会、みんなの集落研究所と共同で調査 ・ヒアリング等を実施
1月21日	第4回「オレンジカフェひらい」開催
2月18日	地域課題・ニーズ調査専門部会、みんなの集落研究所と共同で調査 ・ヒアリング等を実施
2月18日	第5回「オレンジカフェひらい」開催
3月7日	第8回地域づくり会議定例会開催
3月17日	地域課題・ニーズ調査専門部会、みんなの集落研究所とヒアリング 調査結果の整合、課題解決策等今後の戦略・戦術等を打合せ
3月18日	第6回「オレンジカフェひらい」開催
3月28日	反省会、会計報告及び決算役員会開催
3月30日～31日	高齢者対策専門部会、高齢者対象の「健康チェック」を実施